

# 「柏崎学」指導資料集

## 柏崎の人、自然、文化に触れ、ふるさと柏崎への郷土愛を育てる

### 「柏崎学」の目的

柏崎市教育委員会では、「ふるさとに誇りと愛着を持ち、夢と希望に向かってたくましく生き抜く児童生徒を育む」ため、ふるさと柏崎の魅力とそれを語る人々の生き方を学び、柏崎の未来の活性化を図る人材を育成する「柏崎学」が本年度スタートしました。

「柏崎学」は、ふるさと柏崎の自然や文化の魅力とそれを語る人々の生き方を学び、さらにキャリア教育として柏崎の職業に触れ柏崎の良さに気づき未来の柏崎を切り拓く人材を育成することを目的としています。

### 「柏崎学」指導資料集の活用について

児童生徒がふるさと柏崎への愛着を高めるためには柏崎の自然や文化の魅力を理解することが大切です。しかし、指導する立場の教職員が柏崎の地域についての理解が不十分で子供たちに愛着を高めるまで指導できないのが現状です。

そこで、柏崎市教育委員会では、5名の指導資料作成委員を委嘱し、実践研究に取り組んできました。その成果を今回指導資料集としてまとめることができました。

完成した資料集を授業で活用して、柏崎に生まれ育った子どもたちに生涯にわたりふるさとを誇りに思い、柏崎の未来を拓く資質能力を高めてください。

平成30年 3月  
柏崎市教育委員会

## 「柏崎学」の学び方

「柏崎学」では柏崎の人、自然、文化にふれ柏崎の魅力を学んだり、柏崎の抱える課題や未来の柏崎の在り方に目を向けたりしながら、柏崎に愛着を深め、誇りを持つ子、将来を見据え、たくましく生き抜く子を育成します。

「柏崎学」の学びを深めていくために「見方・考え方」を充実させることが大切です。今回の指導資料集に収録した実践の「見方・考え方」は次の視点が含まれています。

見方・考え方		学ぶ内容	実践
多種多様な要素から成り立っている (多様性)	多様なものがある	柏崎の自然・文化・社会・産業は起源、性質、現状などが多種多様な事柄から成り立ち、多種多様な出来事が起きている。	町探検の実践
	一人一人を尊重する	未来の社会は、一人一人の思いや願い、生命や人権が尊重され、人の生活や健康は地域を超え世代を渡り、誰にでも保証され実現される機会がある。	伝統文化の実践
互いに作用し合っている (連続性)	関わり合っている	柏崎の自然・文化・社会・産業では、それぞれが互いに働き掛け合い、人はつながりをもち、互いに関わり合っている。	—
	力を合わせる	社会をよくするためには、多様な人々との連携・協力なくしては実現しない。意見や利害の異なる場合でも、調和・協力しながら課題を解決していく。	平和を願う実践
未来に向かって変化している (未来性)	限りがある	柏崎の自然・文化・社会・産業を成り立たせている資源は変化し有限であることを知り、限られた資源を将来のために有効に使用していくことが求められる。	ナウマン象の実践
	未来に責任をもつ	よりよい社会を構築するためには、一人一人がその責任を自覚し、他人任せにするのではなく将来像をもち、自ら進んで行動する必要がある。	防災教育の実践

各学校では「柏崎学」がめざす子ども像と自校の教育課題解決を関連づけながら、上記の「見方・考え方」の窓口等を参考にして地域に根ざした実践に取り組んでください。

### 【編集委員】・・・執筆者

牧 匡尚 (高柳小 教頭)  
 酒井 智子 (南中 教諭)  
 佐藤 貴信 (柏崎小 教諭)  
 山本 直恵 (松浜中 教諭)  
 下村 大地 (半田小 教諭)

### 【指導者・事務局】

アドバイザー 中野 博幸 (上越教育大学 教授 )  
 作成指導者 滝澤 豊 (学校教育課 指導主事 )  
 事務局 若林 勝 (学校教育課 嘱託指導主事 )

## 「柏崎学」を応援します

「柏崎学」指導資料集では、柏崎の小中学校の教師が、柏崎にある教育機関、教育システム、教育的施設の魅力を知り、自己の実践向上に資することを目的に学校を応援していただける専門機関を紹介することにしました。

- ・ここに行くと、こんな「ひと・もの・こと」と出会うことができることを知る。
- ・ここには、こんな機能があることを知る。
- ・柏崎には、こんな柏崎愛に満ちた人がいることを知る。

以上の視点から各学校の「柏崎学」を支援していただける機関、施設を紹介します。

### 柏崎市立博物館

平成30年3月にリニューアルした柏崎市立博物館は「人物・自然・文化・産業ひと・もの・こと」と様々な事象を学ぶことができます。

- 昔の道具や暮らしの学習で実際に道具や生活を調べることができます。
- 埋蔵文化財の土器など貴重な展示物がたくさんあります。
- 柏崎人物館が博物館に移転しました。

博物館で「地域の発展に尽くした人々」を調べることができます。

- 日本有数のプラネタリウムが鑑賞できます。(期間限定の特別投影)
- 博物館では、学校の教育活動を支援する目的で出前授業を受付けています。

#### 問い合わせ

住所 柏崎市緑町 8-35

電話 0257-22-0567

メール [k-museum@city.kashiwazaki.lg.jp](mailto:k-museum@city.kashiwazaki.lg.jp)

### 綾子舞会館

綾子舞は、柏崎市女谷の 高原田と下野の2集落に保存伝承されてきました。女性が踊る「小歌踊」と男性が演る「囃子舞」と「狂言」の三種類の芸能から成立っており、綾子舞はその総称です。初期の歌舞伎踊の姿や形をよく残している貴重な民俗芸能です。

綾子舞は、今から約500年前に、鶴川の里に伝えられたといわれています。その伝来にはいくつかの説があります。

柏崎市立南中学校・新道小学校の子供たちは伝承学習に取組、毎年9月に発表会を行っています。

#### 問い合わせ

住所 柏崎市女谷 4529 番地

電話 0257-29-3811

メール [ayakomai@bz03.plala.or.jp](mailto:ayakomai@bz03.plala.or.jp)

## ドナルド・キーン・センター

柏崎名誉市民「ドナルド・キーン先生」は、18歳の時に「源氏物語」と運命的な出会いをします。その後、戦争当時の日本兵との関わりから、一層日本に惹かれ日本文学を学ばれました。たくましく生き、日本の文学・文化の中から、日本の美しさ・素晴らしさを世界に発信してくださっています。

柏崎とのかかわりは中越沖地震に遡ります。激震に見舞われた柏崎市民が復興の険しさに立ちすくんでいたとき、一つの文化活動が企画されました。それは、キーン先生の提案による古浄瑠璃「越後国柏崎 弘知法印御伝記」の復活上演でした。

災害の際に元気づけていただいたキーン先生と柏崎とのご縁から、平成25年4月に「ドナルド・キーン・センター」がオープンしました。

「ドナルド・キーン・センター」では、「柏崎学」を支援する出前授業を行っています。

問い合わせ

住所 柏崎市諏訪町 10-17

TEL・FAX : 0257-28-5755

<http://www.donaldkeenecenter.jp/>



## 柏崎市立教育センター

柏崎市教育センターは、教職員の指導力向上に向けた研修講座を開設しています。さらに、コンピュータを活用した指導方法の研修など下記の内容から学校現場を支援しています。

- ・研修講座（本年度160を開設しています）
- ・情報教育（デジタル教科書の活用、メディアに関する出前授業も可能です。）
- ・科学技術教育（科学教育充実のための教材作成、実験、観察を支援します。）
- ・教科書センター（市内で使用している教科書をはじめ各出版社を展示しています。）

問い合わせ

住所 柏崎市大字軽井川 4803 番地 2

電話 0257-23-4591

## 柏崎市WEBミュージアム

柏崎市 WEB ミュージアムは次の内容で構成されています。下記のアドレスからご活用ください。

- わたしたちの柏崎  
柏崎市立小学校で使用している地域学習用教材「わたしたちの柏崎」を見ることが出来ます。
- 柏崎の偉人と文化財  
柏崎の発展に尽した先人や文化的価値のある収蔵品を調べることが出来ます。
- 特集ページ  
柏崎の伝統行事や産業・経済の歴史など、代表的な地域史料を学ぶことが出来ます。

検索場所

<http://kashiwazaki-web-museum.jp/>

